

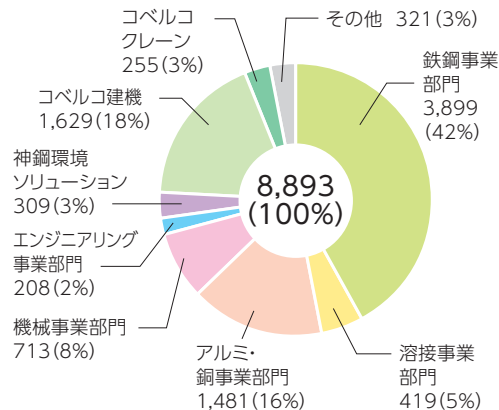
■当上半期の概況

当上半期のわが国経済は、デフレ脱出を目指した金融政策や大規模な財政出動が打ち出されたことを背景に、昨年末までの超円高が是正されたことによる輸出産業の持ち直しや、震災からの復興に伴う需要をはじめとする公共投資の増加などがあり、回復基調が継続しました。また、海外では、欧州の景気は依然として低調に推移しましたが、米国において緩やかながらも景気回復基調が維持されました。一方、中国においては、引き続き成長を維持したものの、景気拡大が減速した状態が継続しました。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、鉄鋼事業部門において、鋼材の輸出環境に改善が見られる中、海外需要を着実に取り込んだことや、アルミ・銅事業部門においてアルミ圧延品、銅板条ともにIT半導体向けの需要が回復基調となったことなどから、販売数量は前年同期を上回りました。また、油圧ショベルの販売台数については、中国および東南アジアにおいて需要が低調でしたが、国内需要が震災復興需要を中心に増加したことから、前年同期とほぼ同じ水準となりました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期に比べ307億円増収の8,893億円となりました。また、総コストの削減が進んだことや、固定資産の減価償却方法を変更した影響及び在庫評価影響の好転もあり、営業利益は、前年同期に比べ489億円増益の544億円、経常損益は、前年同期に比べ541億円増益の431億円の利益となりました。また、当社保有のナブテスコ(株)の株式を売却したことによる投資有価証券売却益などを特別利益として計上した一方、神戸製鉄所の上工程設備を加古川製鉄所に集約する鋼材事業の構造改革を決定したことに伴い、神戸製鉄所の休止予定設備の減損損失を特別損失として計上しました。この結果、前年同期には投資有価証券評価損を特別損失として計上していたこともあり、四半期純損益は、前年同期に比べ823億円増益の441億円の利益となりました。

事業別売上高(平成25年度上半期) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額345億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額8,893億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

3,899 億円

(前年同期比 +1.7%) 

- 鋼材販売数量：国内外の自動車向け需要回復、海外需要の取り込みにより前年同期比増
- 鋼材販売価格：主原料価格の上昇を受け価格改定を実施したものの、前年同期を下回る
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要低調、価格下落により前年同期比減
- チタン製品売上高：前年同期比増
- 経常損益：前年同期比396億円増益の155億円の利益



薄板コイル



溶接事業部門

419 億円

(前年同期比 △0.2%) 

- 溶接材料販売数量：国内の自動車、建築向け需要は回復基調も、国内の造船向け需要低迷、中国における景気減速継続の影響により前年同期比減
- 溶接システム売上高：中国の建機向けの需要低迷により、前年同期比減
- 経常利益：総コストの削減の進展により前年同期比17億円増の28億円



被覆アーク溶接棒

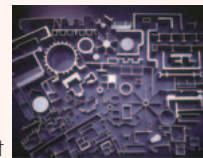


アルミ・銅事業部門

1,481 億円

(前年同期比 +7.6%) 

- アルミ圧延品販売数量：自動車向けの需要堅調により、前年同期比並
- アルミ鑄鍛造品売上高：海外の自動車向けの需要堅調により、前年同期比増
- 銅圧延品販売数量：半導体向け銅板条の需要回復、銅管の海外需要堅調により、前年同期比増
- 経常利益：前年同期比67億円増の80億円



アルミ押出形材



機械事業部門

713 億円

(前年同期比 △11.7%)



- 受注高：石油精製・石油化学業界向けの圧縮機の需要堅調により、前年同期比23%増の742億円
- 当期末受注残高：1,407億円
- 経常利益：大型案件の売上計上が集中した前年同期比23億円減益の21億円



タイヤドラム試験機



エンジニアリング事業部門

208 億円

(前年同期比 +16.3%)



- 受注高：ロシア向け大型還元鉄プラントを受注したことなどから、前年同期比82%増の200億円
- 当期末受注残高：669億円
- 経常損益：前年同期比6億円改善の、1億円の損失



KOBELCOペレタイジングシステム



神鋼環境ソリューション

309 億円

(前年同期比 +5.9%)



- 受注高：廃棄物処理関連事業の大型案件を受注した前年同期比25%減の368億円
- 当期末受注残高：494億円
- 経常利益：廃棄物処理関連事業での増収などにより、前年同期比7億円増益の10億円



相模原市南清掃工場



コベルコ建機

1,629 億円

(前年同期比 +8.4%)



- 油圧ショベル販売台数：前年同期並
〔国内〕震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増
〔海外〕中国および東南アジアにおいて需要は低調
- 経常利益：前年同期比45億円増益の101億円



20トン級油圧ショベル
[SK200-9]



コベルコクレーン

255 億円

(前年同期比 +15.2%)



- 販売台数：前年同期比増
〔国内〕震災復興需要により増
〔海外〕欧州向けなどは減も、東南アジア向け増により、前年同期比増
- 売上高：前年同期比増
- 経常損益：円高の是正による輸出採算改善により前年同期比26億円増の17億円の利益



クローラークレーン
Gシリーズ



その他

321 億円

(前年同期比 +12.6%)



- コベルコ科研：ターゲット事業において需要が低迷
- 神鋼不動産：〔分譲事業〕引渡戸数が増加
〔賃貸事業〕堅調に推移
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比2億円増の24億円



ジークレフ塚町
レジデンス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。